

高瀬川だより

NPO法人京都高瀬川繁栄会会報
編集人 田村佐起三

〒六〇四一八〇〇一
京都市中京区木屋町通三条上ル
電話 (〇七五) 二二二二・一八二八

ドラマでもあるシェフ四宮知之さんのお店
《フレンチ シェ・シノ》

昨年末パリから帰省した孫に、現地の友達に紹介された京都のお店に連れて行くと、孫の父親と孫の4人で「シェ・シノ」を訪問しました。お薦めの白・赤ワイン共にお料理とのペアリングは抜群でした。最も気に入ったのが鶏のグリルで、以前は毎週のように「さきぞう」本社隣の「めなみ」に鶏を食べに通っていましたが調理長の交代で頓挫、再度鶏と偶然の出会いでした。知人を招待の上、紹介すると健康家の方は即刻次回の予約をされるほど気に入られます。最近珍しくなりつつある「ガッツリ」フレンチはシェ・シノさんの特色でしょう。孫は最近サンテミリオンシャツで葡萄酒作りを体験中だそうです。偶然にもそのシャツが2019年サンテミリオンのコンペで一番に！

国立近代美術館

8月9日〜10月14日

《ドレス・コード?―着る人たちのゲーム》

ファッション、そこには暗黙のルールや駆け引き、あるいはゲームにも似た自己と他者のコミュニケーションが存在します。歴史的にも身体を保護するという機能的な意味での「着る」とどまらずファッションは「視る」視られる「対象」として社会生活における自己と他者の関係性の構築に一定の役割を担ってきました。インターネット等の普及によつて誰もが自らの日常の装いの実践を自由に発信できるようになった現在、私達とファッションのかかわり方もまた新しい局面を迎えています。本展では、ファッションやアートの他、映画やマンガなどに描かれたファッションも視野に入れ現代社会における「ドレス・コード」をめぐる私達の装いの実践、ゲームについて見つめ直します。

私の本棚 おすすめの一冊 粉川 剛
《世界をダメにした10の経済学/Bヴァルロース著》

消費増税は必要なのか? ③
厳戒警備の中G20が閉幕した。今後の世界経済を左右する注目の米中首脳会談はとりあえず第四弾の対中関税先送り、貿易協議再開という結論を見た。民主国家は選挙制度の上に成りたつて来年の選挙を前にトランプ大統領がどのような政策を有権者に示すのか今後の動向が注目される。さて本書でヴァルロースは前号で紹介したクルーグマンを無責任と痛烈に批判、ケインズからピケティまで「不況が起きたら財政出動して景気を刺激せよ」「資本主義は搾取の体制である」「格差問題が経済成長の足かせとなつていゝ」など彼等の「邪悪な理論」をメッタ斬り。「自由な経済における成長は確かに格差を生むが誰もが貧しくなる平等よりも全体が豊になる格差の方が随分マシだ」と市場主義、自由主義の意義を強調している。

土口哲光和尚の説法

《物には心を添えて》

スキルス性胃癌の発症から胃の全摘手術は12時間余に及んだ。あれから4年8ヶ月が経つ。思い出すのは、術後の集中治療室に身を横たえていたおり、無性に喉が渇く。一週間は絶飲食で水が全く飲めない。そこで仕方なく唇を水で濡らして貰った。すると、生き返つたように全身に生気が走る。僅かな水分が単なるH₂Oの水素でなく、生命の貴重な要素だと体験した。まさに物と心とは一体で、「物心一如」のことわりを確信した。「物には心を添えてお渡し下さい」と、古来からよく言われている。贈り物、進物は物に必ず心を添えて物の命を活性化させる。人情の物心に真心が加わる。進物を受ける方も、感謝を一層に深めた気持ち、鳴謝として拝受することになる。

季節の家庭料理 田村 真紀
《八月 夏野菜たっぷりのトマトグラタン》

一皿で新鮮な夏野菜をたっぷりいただけれます。《作り方・四枚分》
ベーコン百グラム・黄パプリカ一個・ズッキーニ一本・ナス二本・オクラ(ゆでる)八本・玉ねぎ半個・カットトマト缶詰一個・固形ブイヨン一個・バジル(乾燥)小さじ一・んにく一片・ピザ用チーズ適量・オリーブオイル適量
ベーコンは細切り、んにくはみじん切り、野菜は一口大に切る。鍋にオリーブオイルとんにく、ベーコンを入れ弱火でじっくり炒めたら夏野菜を加えしんなりするまで炒める。トマト、バジル、ブイヨンを加え汁気がなくなるまで煮詰め、塩コショウで味を調える。グラタン皿に盛りチーズをのせトースターで焼き目がつくまで焼く。

つれづれの記

山崎 辰巳

《再発防止ということ》

不祥事が起こる度に、謝罪会見の場で必ず語られるのが「再発防止」という言葉であり、関係者が深々と頭を下げる光景である。また有権者に支持され選ばれたはずの議員による無神経、無責任な失言と撤回の繰り返しも、当事者の品位や人格を疑いたくなくなり、失望することが多い。企業にしる、政治の場であれ、相応の立場や地位を得た者が「驕り」の所産であり、謙虚さの欠如である。国政を担う者は国を滅ぼさないこと、国民を路頭に迷わさないことを常に念頭におき、企業はどんな業種であれ、いつも消費者に安心と安全の製品やサービスの提供者であることを忘れてはならない。